

4. トラブルとその対応事例

4-1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

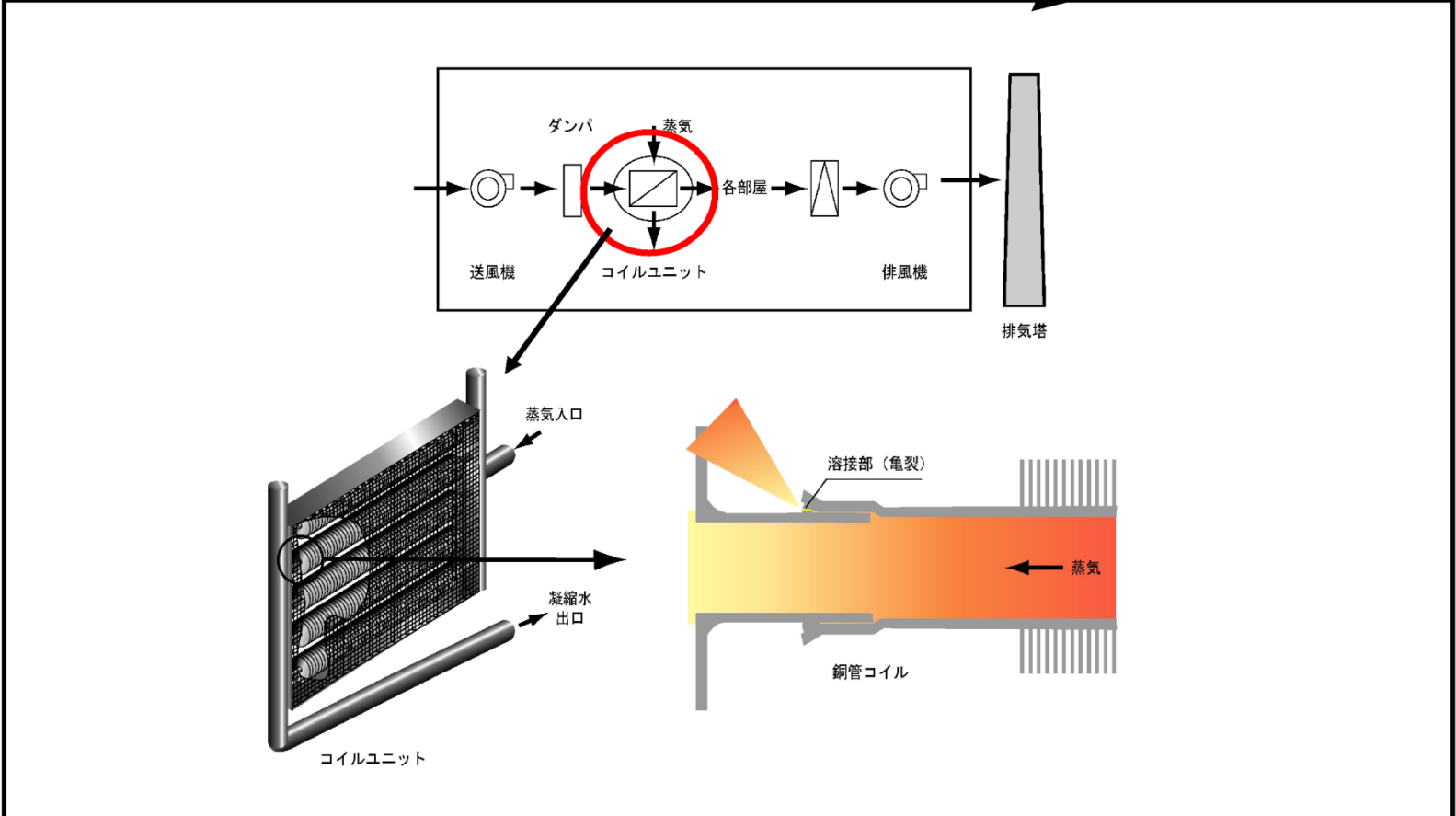
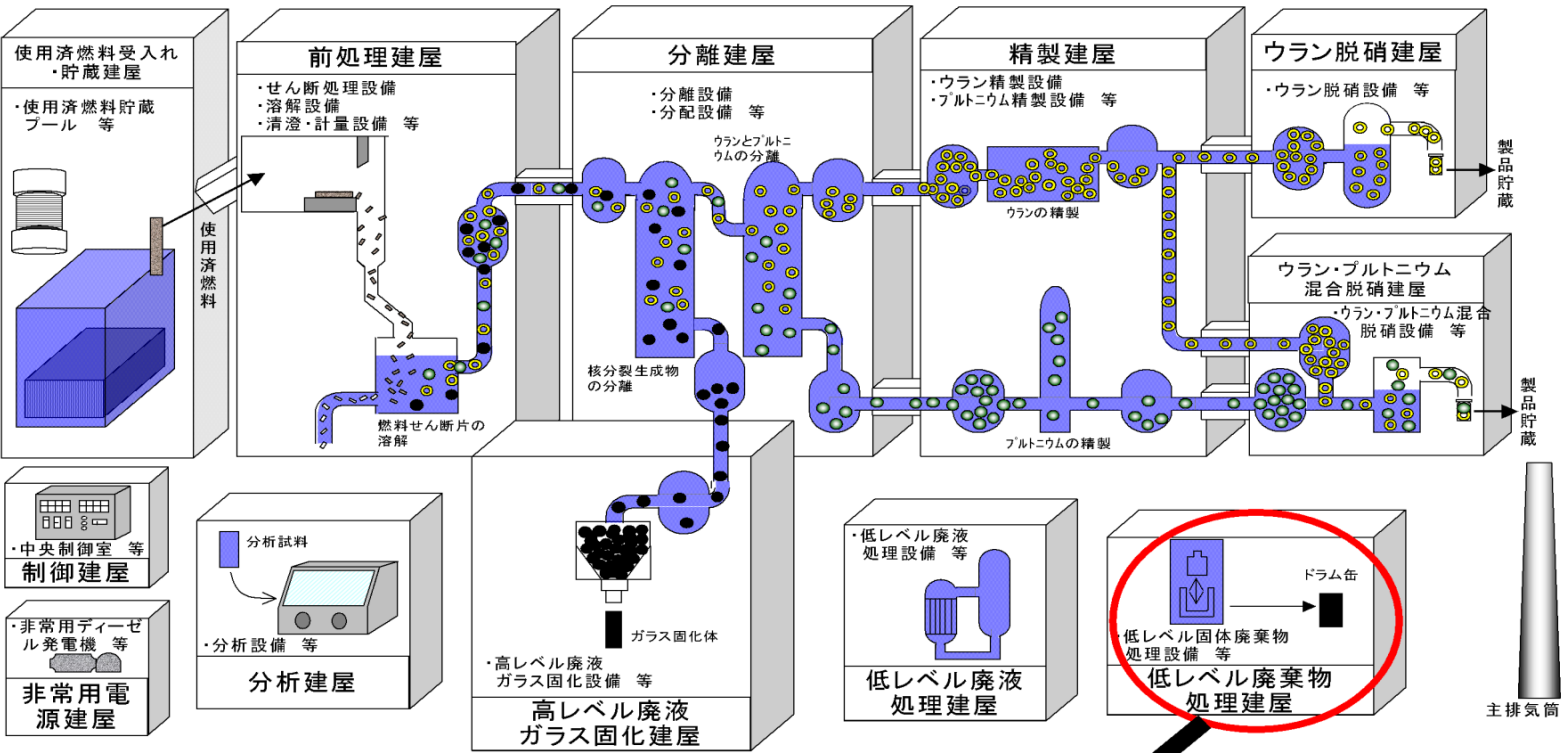
事象分類別 (b. 漏えい)

2-15. 空調機用加熱コイルからの蒸気漏えい																	
事象の概要																	
(1)発生場所：機器		低レベル廃棄物処理建屋：建屋換気設備空調機															
(2)設備の概要		建物の換気空調設備。放射性物質を除去するフィルタや建物内の温度を調整する機能を有する。															
(3)発生の状況		空調機用加熱コイルの蒸気通気中															
(4)概要		銅管のコイル溶接部に亀裂が入り、コイルユニットから蒸気が漏えいし、建屋換気設備の一部を停止（漏えいした蒸気の凝縮水を回収したところ、200Lの漏えいと判明） ＊他建屋も含め同種の機器においても同様の事象の発生が予想される。															
(5)原因		運転を継続する中で生じる小口径配管の経年劣化。															
事象による影響																	
(1)工場外への影響		工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する低レベル廃棄物処理建屋の換気設備が稼働しているエリアでの事象およびそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。本事象は建屋内温度調節用の非放射性の蒸気が漏えいしたものであり、放射性物質を閉じ込める機能への影響はない。また、建屋換気設備は複数の系統を有しており、建屋換気設備の機能は維持される。															
(2)安全性への影響		安全上の問題は生じない。 巡視点検等により漏えいを発見後、漏えい箇所を隔離し、漏えいを停止するため、これ以上事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。															
(3)作業員への影響		作業員への影響は生じない。 放射性物質を含まない蒸気の漏えいであり、放射性物質による汚染・被ばく等の影響は生じない。															
(4)他工程への影響		他工程への影響は生じない。 建屋内の温度調整に用いるコイルであり、蒸気を停止しても工程運転に影響は生じない。															
対応の概要		1.蒸気供給弁により、当該部への蒸気の供給を停止する。 2.定められた保修作業手順に従って、コイルを交換または溶接保修する。 3.交換または溶接保修終了後、蒸気通気を行い異常のないことを確認した後、定常運転を再開する。															
公表区分		翌平日に公表（ホームページへ掲載）															
連絡区分*		<table><tr><th colspan="3">トラブル情報</th><th colspan="3">運転情報</th></tr><tr><td>A 情報</td><td>B 情報</td><td>C 情報</td><td>ごく軽度な機器故障</td><td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td><td>不適合等</td></tr></table>				トラブル情報			運転情報			A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報														
A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等												

＊：『A情報』：安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、『B情報』：事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、『C情報』：A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

143

事象概要



復旧方法

定められた作業手順に従い当該箇所の補修により復旧

トラブル等に伴う設備への影響範囲

当該機器を停止して復旧

当該設備

前工程 機器 次工程 機器

運転継続 運転停止 運転継続